

みんなの新型コロナ対策 「下田モデル」 全体像

3つの安心ポイント

具体策

1

みんな安心

各プレイヤーができることをそれぞれ実施
市民・観光客の双方が安心する下田

- ◆ 下田モデルのルール周知
- ◆ 感染予防を実行するための対応例集の作成・市内への共有
- ◆ 感染予防対策・新生活様式への対応を促す補助制度の創設

2

どこでも安心

あらゆるシーンにおいても対応を
安心して過ごせる・楽しむことができる下田

- ◆ 白浜大浜海水浴場における対策（浜地・駐車場）
- ◆ 海水浴場に隣接する公衆トイレ対策
- ◆ 伊豆急下田駅での自動検温・健康相談

3

“もしもの時”も安心

感染を広げない対応 持続できる下田

- ◆ 発症時の対応の迅速化（市民や関係機関へ正しい情報を早く発信）
- ◆ 感染拡大予防の周知徹底・更なる強化（医療機器整備、関係機関との連携）

コンセプト

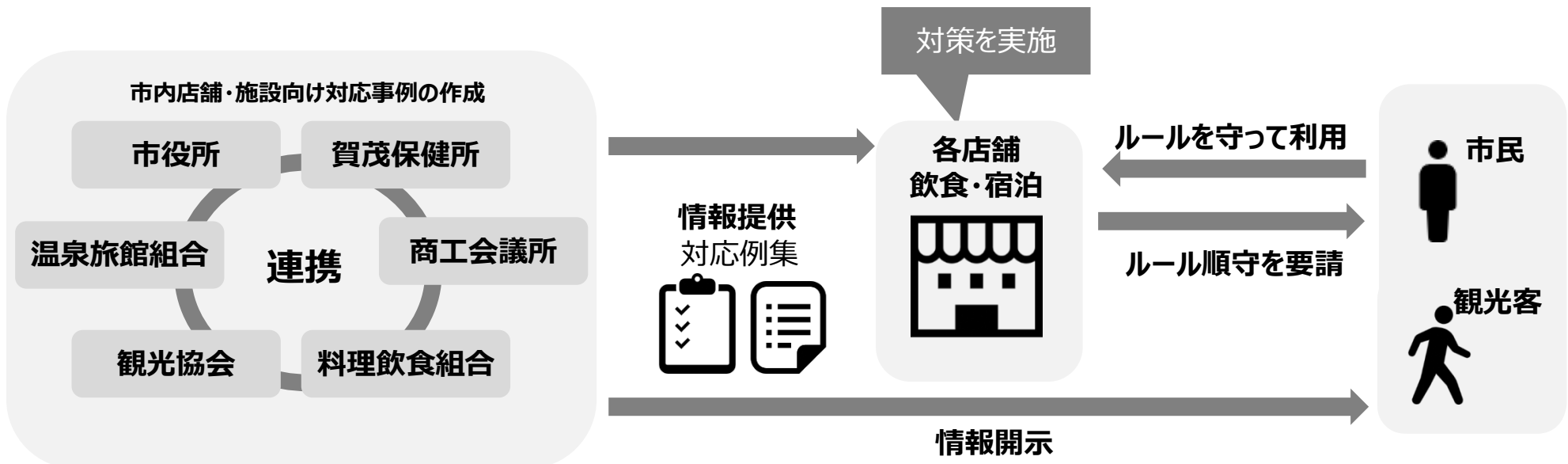
Withoutコロナの対策 (かからない、広げない、持ち込ませない)

①みんな安心 各プレイヤーができることをそれぞれ実施 市民・観光客の双方が安心する下田

1-1 事業所に向けて

◆感染予防を実行するための対応例集の作成・市内への共有

- ・観光協会にて作成した対応例集を、市役所と各団体(観光協会・温泉旅館組合・商工会議所・料理飲食組合)の合意のもと、市内事業所が取るべき具体的な対応例として共有する。
- ・市役所と各団体は、対応例集の周知・情報提供に努め、各施設・店舗の予防対策実施を支援する。



コンセプト

Withoutコロナの対策（かからない、広げない、持ち込ませない）

①みんな安心 各プレイヤーができることをそれぞれ実施 市民・観光客の双方が安心する下田

1-1 事業所に向けて

◆感染防止対策・新生活様式への対応を促す補助制度の創設

対象	接客を主体とした事業者	バス・タクシー事業者
背景	<ul style="list-style-type: none"> 観光を中心としたサービス産業が中心の本市においては、コロナウイルスの感染拡大防止と市内経済の回復の両立を目指すことが必要。 観光等による来訪者はもとより、市民の皆様も含め安心して各店舗・施設を利用することができる環境づくりが求められており、市内各者が一丸となって対策を推進中。 この流れを加速させ、市内で広く対策が進むよう支援。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の生活や経済活動を支えるための機能の確保が求められている公共交通について、地域公共交通事業者が感染拡大防止対策を講じることができるよう、車両等の衛生対策や車内等の密度をあげないよう配慮した対策に支援。
内容	<p>接客を主体とした店舗・施設において、感染予防・新生活様式への対応に向けた設備改修・備品購入の経費の一部を補助。</p> <p>（対象の例）</p> <ul style="list-style-type: none"> 店舗・施設内におけるパーテーション（衝立）の購入 換気設備の導入 空気清浄機の導入 など 	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止に資すると認められる物品の購入や作業等に要する費用を補助。</p> <p>（対象の例）</p> <ul style="list-style-type: none"> 車両における抗菌・抗ウイルス対策費（マスク・消毒液の購入 等） 車内の密度をあげないよう配慮した運行費（増便費用 等） 利用者及び住民に対して感染症対策を求めるための周知費（ポスター等の掲載、作成 等）
補助率/額	<p>※現在の案 補助率 1 / 2 下限額 5 万円 上限額 50 万円 (対象事業費 10 万円～100 万円)</p>	<p>※現在の案 バス事業者：市内を 1 日あたり運行する車両 1 台につき 5 万円を上限 タクシー事業者：市内営業所の保有 1 台につき 2 万円を上限</p>

コンセプト

Withoutコロナの対策（かからない、広げない、持ち込ませない）

①みんな安心 各プレイヤーができることをそれぞれ実施 市民・観光客の双方が安心する下田

1-2 観光客に向けて

◆下田モデルのルール周知

「住む人・訪れる人 みんなで安心な下田をつくる」という今夏のテーマを理解していただいた上で、守った上で楽しんでもらうべく、下田来訪に際しての行動指針を作成。

「下田ルール」 ※詳細は次ページ

①下田に来る前に守ってほしいこと

下田に来る前にやってほしいこと。来る前の心構え。

②下田に来たら守ってほしいこと

下田滞在中に守ること。行動指針として常に意識。

市内向け周知

下田ルールを市民にわかりやすい形で周知

- ポスター・看板を市内各所に掲示。
（各海水浴場（駐車場含む）、伊豆急下田駅、道の駅、店舗・宿泊施設、路線バス、タクシー）
- 各組織団体のHPやSNSでも周知し、なるべく多くの人の目に事前に触れるようにする。

他都道府県への依頼

来訪者の多い・感染者の多い都道府県へ メッセージ発出を依頼

- 他都道府県に向けて、「都内/県外から来訪する際は、下田モデルへのご理解・ご協力をお願いいたします。」と呼びかけるよう要望。

コンセプト

Withoutコロナの対策（かからない、広げない、持ち込ませない）

①みんな安心

各プレイヤーができることをそれぞれ実施 市民・観光客の双方が安心する下田

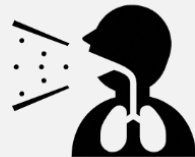
みんなでルールを守ろう！

① 下田に来る前に守ってほしいこと

1. 下田に来る2週間以内に、以下に該当する方は、下田への来訪をご遠慮ください。



37.5℃以上の
発熱がある場合



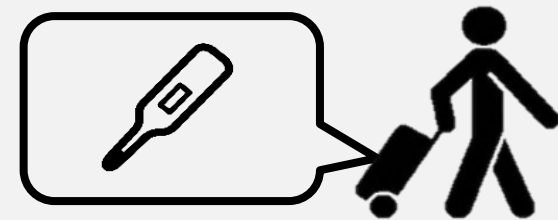
感染症患者(またはその濃厚接触者)
と接触した場合

また、出発前は必ず検温等の
健康チェックを行ってください。



※伊豆急下田駅において検温を実施しています。
※体調が悪化した場合は、ご帰宅をお願いする場合がございます。

2. 体調を確認できるよう、
体温計を必ず準備してください。



※スマートフォンをお持ちの方は、
接触確認アプリをインストールして
いただくようお願いします。



下田市にいるみなさま（観光客・従業員・市民）が感染の心配なく安心して過ごしていただくためのルールです。
ご協力よろしくお願いいたします。

コンセプト

Withoutコロナの対策（かからない、広げない、持ち込ませない）

①みんな安心

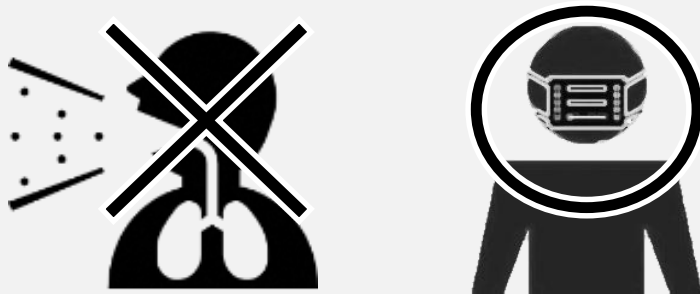
各プレイヤーができることをそれぞれ実施 市民・観光客の双方が安心する下田

みんなでルールを守ろう！

② 下田に来たら守ってほしいこと

**1. 各施設内においては
マスクを必ず着用してください。**

※熱中症にも注意いただくため、屋外で人と十分な距離（少なくとも2m以上）が確保できる場合にはマスクを外すようにしましょう（厚労省）

**2. 市内の各施設・店舗等のルールを
入館・入店前によく理解した上で
ご利用ください。**

※お守りいただけない場合は、各施設・店舗等においてご利用をご遠慮いただく場合があります。



下田市にいるみなさま（観光客・従業員・市民）が感染の心配なく安心してお過ごしいただくためのルールです。
ご協力よろしくお願いいたします。

コンセプト

Withoutコロナの対策（かからない、広げない、持ち込ませない）

①みんな安心 各プレイヤーができることをそれぞれ実施 市民・観光客の双方が安心する下田

1-3 市民に向けて

◆「下田モデル」の周知

- ・「下田に来たら守ってほしいこと」の市民版。ルールを守ることで双方が安心。
- ・全ての外出について「新しい生活様式」を徹底。
- ・感染拡大エリアとの行き来（帰省も含む）は慎重に行動。

◆市民向けQ & A集の提供

- ・生活必需品を安心して買うための方法（例）
観光客も訪れる店内では、置いてある手指消毒液を活用しつつ、滞在時間はできるだけ短くし、帰宅したら石けんでしっかり手を洗いましょう。

買い物ルールをお願い ～ 6つのポイント～

- (1) 少人数（できるだけ一人又は必要最小限の家族のみで）
- (2) 短時間（買い物メモを準備し滞在時間を短縮する）
- (3) 咳エチケット等の徹底（必ずマスク着用・手洗い・入店前後の消毒を）
- (4) 混雑時を避ける（すいている時間に、人との距離をあけて）
- (5) 買いためや買い急ぎはしない（必要な分だけ買うように）
- (6) 毎日の利用はしない（2～3日に1回の計画的な利用を）

コンセプト

Withoutコロナの対策（かからない、広げない、持ち込ませない）

②どこでも安心

あらゆるシーンにおいても対応を 安心して過ごせる・楽しむことができる下田

2-1 白浜大浜海水浴場

◆**入口を限定** 11か所ある入口を5か所に削減、入口に警備員を配置し確認

①自宅や宿泊施設から出発する前に検温済みの方
⇒リストバンドを付けて入場（以降の入退場は自由）

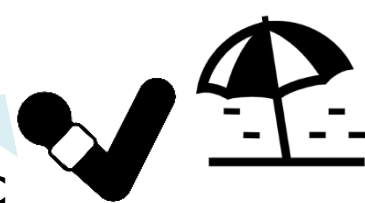
②未検温の方

⇒専用入口誘導し検温、問題なければリストバンドを付けて入場

⇒発熱（37.5℃以上）であった場合は原則入場をお断りするが、検温条件により正確な測定ができなかった可能性があるため、日陰に待機後に再検温も可とする



リストバンドを装着して
ビーチへ



37.5℃
未満

原則お断り

37.5℃
以上



◆**開場時間の短縮**

例年17：00閉鎖を
16：00に変更

◆**混雑具合を表示**

混雑 > やや混雑 > 空き
毎日10時・13時に更新
※各海水浴場と伊豆急下田駅降
車口に看板を設置して表示

コンセプト

Withoutコロナの対策（かからない、広げない、持ち込ませない）

②どこでも安心

あらゆるシーンにおいても対応を 安心して過ごせる・楽しむことができる下田

2-1 白浜大浜海水浴場（つづき）

＜シャワー・更衣室＞

- ◆有料制：下田市海水浴場等における新型コロナウイルス感染症の感染防止対策ガイドラインに沿って運営

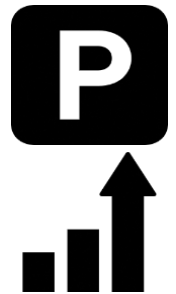
＜飲食施設（海の家）＞

- ◆飲食は「下田ルール」に沿って運営
- ◆物販店は下田市海水浴場等における新型コロナウイルス感染症の感染防止対策ガイドラインに沿って運営

2-2 白浜大浜海水浴場に隣接する駐車場

- ◆台数の制限 区営駐車場は浜地の混雑状況により受入れ中止を実施
- ◆料金値上げ 混雑の予測される繁忙期には料金の値上げを実施

※民間駐車場、宿泊施設・観光施設併設の駐車場においては、各事業者の方針に任せるが、地元区の方針に合わせてもらうよう依頼



2-3 海水浴場に隣接する公衆トイレ

- ◆専門家のガイドラインによる対策を実施

- ・入口に手指消毒用アルコール設置 消毒を促す看板の設置
- ・トイレのふたを閉じて流すこと
（市の管理する公衆トイレを簡易洋式トイレに仕様変更）
- ・清掃頻度は1日2回以上（次亜塩素酸ナトリウムを使用）



コンセプト

Withoutコロナの対策（かからない、広げない、持ち込ませない）

②どこでも安心

あらゆるシーンにおいても対応を 安心して過ごせる・楽しむことができる下田

2-4 伊豆急下田駅

◆体温測定システムの導入による検温

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、伊豆急下田駅降車口に、A I = 人工知能がマスクをつけたままの人の顔を検知し、体温を測定するシステム（サーモグラフィー）を導入

○期間

- ・月日：2020年7月23日(祝)～8月31日(月)
- ・時間：09：57着～17：42着（最大27便/日）

○運用方法

- ・降車口改札外側でのサーモグラフィー導入による自動検温
- ・地元ゆるキャラ「ぺるりん」と、疫病退散に御利益があるとされる妖怪「アマビエ」をかけた「アマビエぺるりんお守りカード」を、検温に協力いただいた方全員に配布
- ・発熱(37.5℃以上)の方の、健康相談を実施し、帰国者接触者相談センター等を紹介

表

裏

 <p>疫病退散 SHIMODA SPIRIT</p>	<p>みんなで守ろう！下田ルール 下田に来たら守ってほしいこと</p> <p>1 施設内ではマスクを必ず着用 熱中症に注意いただくため、屋外では人と2m以上の距離が確保できる場合にはマスクを外すように</p> <p>2 入館入店前には、各施設・店舗のルールをよく理解下さい</p> <p>息苦しさ、強いだるさ、発熱などの症状のときは「静岡県帰国者・接触者相談センター」へご相談ください 電話 050-5371-0561</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

コンセプト

Withoutコロナの対策 (かからない、広げない、持ち込ませない)

③もしもの時も安心 感染を広げない対応 持続できる下田

3-1 市民が発症した場合

<発熱体調不良の場合>



かかりつけ医の診察



帰国者接触者外来
でPCR検査



入院、軽症者は
自宅療養

<高熱息苦しい場合>



帰国者接触者相談センターに
電話相談 ([050-5371-0561](tel:050-5371-0561))



3-2 観光客・帰省者が発症した場合

- ①新型コロナウイルス感染症を疑う症状の方は、「静岡県帰国者・接触者相談センター」に、まず相談
- ②感染を強く疑うと判断された場合、賀茂保健所が、帰国者・接触者外来病院に受診調整

<新型コロナを疑う症状>



帰接センターに電話相談
([050-5371-0561](tel:050-5371-0561))



帰国者接触者外来
でPCR検査



入院、軽症者は
帰宅し結果待ち

3-3 医療機関・賀茂保健所・消防組合・他町との連携強化を進めます

賀茂6市町首長参加の「賀茂地域医療協議会」で第1波における課題と第2波に向けた対応を議論

- ・患者移送態勢 ・病院経営 ・外来診療及びPCR検査体制 ・入院患者受入態勢
- ・観光客来訪に伴う患者発生リスク及び受入体制の確保 ・陽性患者発生時の情報公表の流れ など

コンセプト

Withoutコロナの対策 (かからない、広げない、持ち込ませない)

③もしもの時も安心 感染を広げない対応 持続できる下田

新型コロナウイルス感染症に関する相談フロー (簡易版)

